

自我の芽生えから
殆ど他者との身体的接触が
無いコミュ障女子の生肌を襲う…
強烈な刺激とそれに伴う羞恥心…

しゅうけい
ちりようだん
醜形治療談

32ページ

びゅん...

なあ：前渡したやつで尻穴
開発しとけって言ったよな？
使ってるの？あれ

...はい...

フリフリ...

俺の半分も入らなかつたじゃん...
意味ないから...今日これ付けて学校行けよ
ペナルティー

!?

ここ数ヶ月間で...
私の日常は大きく変化しました...



私は子供の頃から内向的でした：
中学、高校生になっても内向性は変わらず：

おしい：
斉藤さん？

さらに流行病の影響で毎日付けていたマスクを
いつの間にか外せなくなっていました：

中学での友達数人とも進学に伴い疎遠に：
高校では孤独な日々を過ごしています：

斉藤さん！

はひっ!?

何ボケっとしてんの！……
みんな待ってるよ……

ハア…

モロッ！

ストン



しゅっ！



…あの日から急にお腹の奥がむず痒く疼いて、
授業に全く集中出来なくなつて…

フワゾク…♡

その感覚は日に日に強くなり
家に帰っては自身を慰める
毎日を送っていました…そして

授業中無意識に慰めている所を
隣の桜井さんに撮られて…
彼に従うしか…ありませんでした…



櫻井くんとの関係が始まってからは
ほとんど毎日体を求められました…

おい動かなくなって…

そのままけつ穴緩めとけよ…

そんな日々に体は順応するように
感度を高めていきました…

ヌキシ…

ミロー♡

ビクッ♡

ジーン♡

ミラー

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡

ハッ♡



力抜けて...

無理...ですっ...

そして現在...

彼に言われ...一人開発していた時...
恐怖心と異様な刺激から手が進まなかった...
あの場所を...



待つ...



あッ...っ...

抵抗する間も無く貫かれました...

おへソを裏から圧迫されるような感覚と
息が途絶えるほどの強烈で不快な快感が
絶え間なく襲ってくる...

櫻井くんに弱みを握られてから…
行為中の動画を撮影されたり…
複数人全く知らない人との行為を強要され…

なあ知ってる？
お前が学校でボタン弾いた日から
クラスの男全員…お前のデカ乳凝視してんの…

今日授業中周りの奴ら見てみるよ…
マジだから…w

ゆっくりと貞操観を壊されていった…
そして…

あと…このイヤホンも付けとけ…
両方とも学校で勝手に外すなよ…

この日は過去数ヶ月の中でも
一番のトラウマを彼女に
植え付ける事になる…



授業…
集中できない…

ふう…ふう…あつ…

学校に着き数時間…

強烈な圧迫的快感
見つかるのではないかという緊張感…

無自覚に下腹部へ伸びる自身の腕を
残った理性で押さえ付け耐えていました…

あと一時限…大丈夫…

あつやべ…

5時限目までどうにか耐え少しづつ
慣れてきたと思つた矢先下腹部を
あの強烈な疼きが襲う…



今までに無い強烈な疼きとお尻の圧迫感…

お尻のプラグが伸縮と強烈な振動をし始め
下腹部にあるほぼ全ての性感帯が同時に達し…
一瞬大きく声を漏らしてしまう…

絶望的な下腹部の感覚から漏れ出そうな絶叫を
どうにか押し殺していましたが…その時

イヤホンとプラグのスイッチが
ほぼ同時に入れられる…

だっ大丈夫!? 斉藤さん…

はい…



鮮明に覚えていなかった記憶が音声を元に
強制的に復元される…

初めて生肌を他者に触られた日…
羞恥心と刺激から気絶を繰り返したあの日…

そして…イヤホンから流れる微かな音…
絶頂を繰り返す体から意識を逸らそうと
その音声に耳を傾ける…
頭の中にはある情景が思い浮かんでいました

デカすぎんだろ…
彼女貧乳だからマジ興奮するわあ…

やばっ…

あゝもう無理だわ…
ベット行くぞ…



斉藤さんゴム持ってたの？w
なにこれ学校で配られたやつ？

気絶しそう…

生でいいじゃん
はあく付けて欲しいなら口で付けてろ…

生きている実感も刺激もない日常…
突如加えられた刺激に朦朧としている中…
最悪の事態にならないよう
どうにか立ち回る…

明らかにサイズのあっていない避妊具に
一抹の不安を感じました…

グッポッ



そういや…
お前なんでマスク付けてんの？
外せ…

ああやべえ…

そんな状態の私を意に返さず
櫻井くんは強引に舌をねじ込んできた…
ここで一瞬意識が飛んだ…
立ちくらみにも似た感覚でした…

小学生の頃流行病が始まって以降
つけ続けたマスクを五年ぶりに外した…
手の震えが止まりませんでした…

早くしろよ…

お前さっきから反応悪すぎ…
声の出し方教えてやるよ…

そして今でも時々フラッシュバックする
あの瞬間が訪れる…



ため息

朦朧としていた意識を一瞬で現実に戻す
強烈な痛み…

抱き心地やべえ…

恐怖する間もなく、数週間疼き続けた
子宮の入り口を押し潰されて
その痛みをかき消すほどの快楽に
十数秒の間呼吸が止まるほどの絶頂を続けました…

おい…目覚ませ…
舌絡ませろ…

その後…放心状態の私の体を無我夢中で
貪っているであろう彼の吐息が
数分間…聞こえ続けた…

ドクドク♡

ドクドク♡

ドクドク♡

ドクドク♡



じゅぱっ♡

ん…あっ…
早く終わって…

お…お…お…♡

じゅ♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

じゅ♡

チヨ♡
ヌト♡
ヌト♡

パチュ♡バム

ズルズルと私の中で蠢く彼のソレが
先ほどよりも熱く生々しくなっていることに…

その後…徐々に目を覚まし
赤黒く異様な熱さをまとった舌に
全身をねぶられ身悶えしている最中…

下腹部の違和感に気づきました…

避妊具が役目を果たしていないこと
に直感的に気づく…

待って… あっ
破れて…ます…

え？なにが…あゝもう射精るわ…
おい抜けんたる暴れんな…

あっ待って…

ズジロ

がえろ

お…お…お…♡

ん♡
お♡
お♡

ん♡
ん♡

びく♡



抵抗虚しく押さえ付けられ：
数秒後に来るであろう未知数の快楽を
受け入れざるおえなかった：そして

お腹を強くさすっても届かなかった：
強烈な疼きを発していた子宮の奥に
焼けるように熱い精液が勢いよく
打ち付けられる：

身構え想像していた快楽の数十倍：
達してもなお膨らみ続ける絶頂感に
凄まじい恐怖を感じた：

息…できない…

あゝやば…
全然なえねえわ…

…中に出された絶望感…羞恥…
抜かれてもお止まらない
絶頂が深く私の意識を奪った…



紛れもなく自身のものであるその声が
過剰な愛情表現を繰り返している音や…

彼の過激な要求に従っているであろう
卑猥な音声が耳から流れ込んできました…

あっ櫻井…くん…
チュパッ♡ハア…好き…好き…♡

…私の…声!?

その後…放課後まで動けずにいた私は
彼に連れられ…
気づいた時にはホテルの中にいました…





今日6時限目のキモい先生
授業中お前のデカ乳ガン見してて笑ったわ...

なんかいつもより積極的じゃん...
あーやば...



ん...あっ...

あゝもう射精わ...
乳圧かける...

やば...
イクっ...

あーそっぴや
お前に話して〜ことあったわ...

ハア...お前短期間で上手く
なりすぎだろ...

ん...あっ...

ん...あっ...

ん...

アブ...アブ...

ん...あっ...

お前とのハメ撮り
ネットに上げたんだけど...

ブルブル

何人かのおっさんが数十万出すから
その子とやらせてくださいとか
DMしてきてる

ポレポレ...

ハッ

ビク

ヒク

ガクガク...

来週5、6人まとめて呼ぶから...

ふ...ふう...

ゾク...

おい...聞いてんのか?

ガクガク...

ビク...

あっ...

フ...

ツク♡
ゾク♡

お前キマリすぎだろ…
あゝまさか水筒の中身全部飲んじやった？

この時：私の頭の中では今までにされてきた
恥辱の数々が秒刻みにフラッシュバックしていた…
その時々を生々しく不快な感覚と共に…

…ケツこっち向けろ…

くチニ♡

なんでもします…
おっ…お尻に…ください…

お願い…
…お願いします…

どろ♡

くチニ♡

くチニ♡



お前がケツにくれって言ったんだろ…
今日家返すつもりねーから…

あ…♡

これ以上抵抗したらあいつ呼ぶよ？
あのキモい絶倫豚くん…

!?

ほら…バニーの格好させたお前に
手錠かけて同類くんを抱かせたじゃん…



キ!?

んんん!!

ブルン♡

ガクッ♡

バニー♡

カクカク♡

んんん♡

ゾワゾワ♡

ビクビク♡

んん♡

バニー♡

ビクビク♡

んんん♡

そういやもう一匹：同類の豚くん
190cmぐらいのデカイ奴
見つけたから明日誘っとくわ…

豚くん2人との3p動画
ネットに上げてやるよ…

まあお前早退して逃げたけど…

明日絶対逃げんなよ…

イグ…





食いつきやば
抜けねえ…

お… おお…

お… おお…



あいつらに犯されるの
想像してイクとかマゾかよ…w

膨らんだ絶望を無理やり吹き飛ばす
多幸的絶頂…その感情の振れ幅から
脳が焼き切れる程の快楽に襲われた…



あーもしもし...
宿泊に変更で...

イグ... いづく... イグ...
あ...

ガチャ...

明日も明後日も辛く異様なこの日常が...
これからも続く...そう思っていました...
ですが...

この後...朝になるまで
気絶と絶頂を繰り返しました...



この目を境に彼からの脅しはパタリと
止まりました...

どうやら櫻井くんの彼女さんが
彼が浮気していることに気づいたらしく
彼女にお灸を据えられたそうです…

安堵した反面…あの辛い日々を
時折思い出しその度に…
性的興奮を覚えるようになっていた…

憂鬱な日常に戻り…
鬱屈とした気持ちをため続け…

ハア！！

櫻井くん…お話があるんですけど…

あ？

約束しましたよね…
新しい豚くん紹介してくれるって…

今日にしましょう…

なんの事だよ…
てか誰…!!

バラしても良いんですよ…？
今までの事全部…♡
貧乳の彼女さんに…

! ?

今日中に豚くんと話付けてきて下さい…あと…

引き受けてくれますよね…
撮影係…♡

ハマ…♡

ハマ…♡

♡ = ♡

HENTAL

おしまい♡